

第 2 回東郷地域協議会会議録(要約)

日 時 令和 4 年 5 月 16 日(月)PM7:00～9:00

場 所 新城市役所 4 階会議室

出席者 委員 27 名(オンライン参加 22 名) 事務局 4 名

次第

- 1 会長あいさつ
- 2 議事
 - (1) 令和 5 年度地域自治区予算について
- 3 連絡事項
 - (1) 地域計画推進体制検討会について
 - (2) 地域協議会だよりについて

1 会長あいさつ

・非常に寒暖差の激しい気候になった。体に十分気をつけてやっていただきたい。今日はオンライン環境の確認という意味もあり Zoom 会議になった。しばらくやってないと忘れてしまうので、ぜひ色々試してみたい。

2 議事

協議会の会議録署名

- ・定数30人のところ27人の出席があり会議は成立している。
- ・会議録署名について、会長及び署名委員を2名指名し署名をお願いした。

(1) 令和 5 年度地域自治区予算について

(事務局説明)

- ・地域自治区予算事業策定要綱
- ・過去の東郷地域自治区予算事業
- ・令和 5 年度東郷地域自治区予算事業策定スケジュール
- ・令和 4 年度東郷地域自治区予算事業進捗状況

○主な意見

委員 AED を入れている部落が講習会を実施するという条件付きで AED を設置する話であったかと思うが、講習会はやっているのか。

事務局 講習会を防災訓練などにあわせてやっている区もあったかもしれない。ただ、その話が出た時には、ちょうどコロナでなかなか防災訓練などの訓練もやりにくい時代に突入したところだったので、例えば自主防災会の方に改めて申し入れをするなど、守ろうのチームでもう 1 回検討する必要があるのではないか。

委員 訓練で 1 回使うと、また充電するのに金がかかるのか。

委員 パット交換にお金がかかるけれども、消防署の方で訓練用のパッドを使わせてもらえ

る。訓練用のAEDがあるので、消防署の指導を受けてやった方がいいかなと思う。そういうところも守ろうの方で投げかけてみたい。

結果

- ・令和5年度地域自治区予算事業計画の検討スケジュールが原案のとおり決定された。

その後、地域計画の5つの柱ごとにグループにわかれ、令和5年度地域自治区予算事業計画の検討を行った。グループ討議終了後、各柱のリーダーから議論内容の発表があった。以下発表要旨。

柱1 暮らそう

- ・ウォーキングをしたらどうかということで、いろんな場所にある程度の地域の方に集合してもらって、正しい歩き方や水分補給の仕方などを指導してもらう。その後、各地域ごとに分かれてウォーキングをしても結構なので、まず最初は自然の場所で過ごして、指導してもらいながらウォーキングするというのを進めていきたい。それから、その中でまたいろんなイベントを実施しながら進めていくということで話が終わった。
- ・それともう一つ、子どもの遊び場所ということこれから考えていきたい。

柱2 守ろう

- ・以前から整備が進んできた地域安全灯について、LEDの機材の設置が完了したが、故障や更新等の費用に新たに2万4千円から3万円ほどかかる。そういう維持管理が大変なので、市の方でも対応してもらえないか。
- ・AEDを設置している公民館で率先的にAED講習会をした方が良いのではないか。
- ・地域で危険箇所、特に通学路など、地震が起きたとき、ブロック塀があるとかそういうものを1回実態調査をした方がいいのではないか、それを事業としてできないか。
- ・空き家の有効活用について、東郷地域に72個空き家があるが、10年前の調査データであるので、また改めて調査して有効活用ができるかできないかを一度調査してみたらどうか。
- ・交通安全面で通学路の整備が必要である。例えば横断歩道をもう少し目立つようにできたら、横断時の交通事故も減らせるのではないか。せっかく東郷地域協議会でも横断歩道の横断手旗を作ったので、もう少し活用できるといい。ただ、なかなか大人になって黄色い旗を持って渡るのはしにくいので、何かドライバーにわかるような合図をするとか、そういう活動や取り組みを率先するなど、東郷地域で交通安全モデル事業として実施したらどうか。

柱3 育てよう

- ・一つ目に、子育て世代交流促進事業について、こちらは実行団体さんと子ども未来課さんと話し合っていてやってくださっているけれども、そこに児童館の先生や新城助産所の助産師さんなども一緒に関わってもらったらどうかということで、今後打診をしていく方向。
- ・二つ目に、関係人口創出促進事業について、こちらも初回の事業がまだ始まって1週間弱だが、数年かけてやっていく事業なので、このまま継続してしばらく通年やっていこうということになっている。
- ・最後に、多世代交流事業の東郷学び学校について、今年は年に2回、夏と冬を予定してい

て、1回目の夏は8月21日の日曜日に、東郷ケッターパークのイベントと同時開催を考えていて、手づくりコスメやハーブティーブレンド、ヨガや竹を使った箸づくりのワークショップを開催していく方向で、共育コーディネーターさんを中心に今計画中。冬についてはまた、追々計画していくという形になっている。

- ・新規の事業として、年間を通して農業体験というものができたら、面白いのではないかという話が出てきた。まだ具体的に掘り下げてないので、また来月以降どうしていくかというところを話し合っていきたい。

柱4 学ぼう

- ・今年度実施する長篠・設楽原の戦いの検定試験に付随して、観光の部分を気にしていきたいなというところで話をさせていただいた。もつくる新城にせっかく来たお客さんたちに少しでも長く新城にいてもらうために、もつくるから歩いていろいろ回れるような地図を作って、お客さんに歩いてもらうような計画をしようかということで、オリエンテーリングを考えていきたいなということに話が進んでいった。来年度できることは予算化していきたいけれども、大河ドラマのどうする家康にくっつけられたらいいなと思い、急ぎいろんなことを動き出せたらなというところで、またこのチームでもつくる周辺を歩いて回ってみようかという話となった。

柱5 楽しもう

- ・東郷 PR 事業とスポーツバイク普及推進事業については、もうラインに載っているので特段の話はしなかった。
- ・実際に誰が楽しむのかということだが、小学生や中学生が楽しむのであれば、どういうことを楽しむことができるのか。自分たちがやってみて役に立つという、それは楽しいと感じるのではないかと言われた方がいた。それは何なのか、ちょっとまだわからないので今後調べていく。
- ・新城東高校跡地はどうかという話があった。実質的にまだ跡地がどうなるかというのはわからないが、夢は大きくと言われる方もいたが、私はなかなか夢を持ってないので、夢を大きく持たれる方にお任せしようかなと思っている。例えば、軽トラ市などのイベントをやってもらったらどうだとか、そういう話もあった。
- ・あと、アウトドアというのはさっきの育てよの柱の多世代交流と重なるような気もするので、また、他の意見があるならば次回考えていきたいなと思っている。
- ・やっぱり楽しもうとすると、場所があつて水があつてトイレがあつて、駐車場が使えて、火が使えて、そういうような場所があるならば越したことはないが、なかなか東郷地域にはない。どこかにないでしょうか。あれば楽しもうの企画がもっとしやすくなる。
- ・こうした楽しもうというのは、男だけで考えられるものではないと思う。女性の意見も欲しい。

○主な意見

会長 コロナで今まで人が集められなかったという状況の中で、何とか人が集められるようなイベントなどをできないかということで、皆さん検討されてると思うし、コロナも今年いっぱいぐらいは続くんじゃないかと思うので、大変ですけども、一つ頭をひねっていただきたい。楽しもうということが大変大事なことで、やっぱりやってる人に示すためにも自分たちも楽しむというふうでないと、事業というのはなかなか続かないと思う。やっぱり

やる人が楽しまなきゃ、イベントやいろんな事業をやるということも大変続かなくなってしまう。自分たちもやってよかったな、楽しかったなというふうにならないと駄目だということ。その辺も考慮しながら、また次回以降ご検討いただきたい。

事務局 本日皆さんから出た意見については、事務局の方で市の担当課に伝えさせていただく。その上で、一度担当課の現状の取り組みなども踏まえ、どうやって形にしていくかという部分を市内部で検討させていただき、次回の6月の協議会の時にまた報告させていただきたい。

3 連絡事項

(1) 地域計画推進体制検討会について

- ・昨年度から話が出ている地域計画推進体制検討会の発足について、検討会の人選を地域協議会からしていただいている。5月13日の会長会議で改めて市の方から検討会をスタートさせることについて説明があった。5～6月を皮切りに各自治区で検討会をスタートしていく予定。

会長 地域マネージャーの問題も含めて、地域計画を進めていくことについては、他の自治区も非常に苦勞されている。これが自発的な交付金団体の話だったらいいが、事業を進めるためにある程度半強制的に集められた形が多いので、この人たちでどうやって盛り上げていくかということに大変皆さん苦勞されているし、実行団体がちゃんとあるわけではないので、どうやってまとまりをつけていくかということについては、他の地域も苦勞されているということがわかった。

委員 新副会長にも検討会に入ってもらったらどうか。

事務局 副会長の都合もあるため、一度直接相談させていただき、本人の意向を尊重した上で決定できたらいい。

(2) 地域協議会だよりについて

- ・地域協議会で話し合ったことや決まったことなどを地域住民にお知らせする地域協議会だよりを定期的に発行している。今年度第1号は5月16日の区長発送で回覧を行う。
- ・毎週水曜日に東郷のホームページをアップしている。東郷広報PR部員の皆さんが頑張って記事を作成しているので、地域協議会の委員としてぜひ見ていただきたい。

【21:00 終了】